

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

国際ロータリー第2530地区東北第一分区
**福島南
ロータリークラブ**

事務局/福島市太平寺通6-2 3F・3F・メイファイP1F2号室 〒960-8151 tel.(024)546-3793 fax(024)545-7876
 幹事室/サンパレス福島 福島市上町4-30 〒960-8101 tel.(024)523-3811(代) fax.(024)523-0375
 HPアドレス http://www.naka.ne.jp/~southrotar/index.html


2009年-2010年Rテーマ

会長：林 克重 幹事：高橋 和之
 会報委員長：小坂 和也 副委員長：藤橋達一郎 委員：柴田 和美・金子 頼岡・阿部 善行

第20回例会 平成21年11月25日(水) 移動例会：福島競馬場
 ■メークアップ/18名 ■修正率/91.05% ■会員/67名 ■出席/43名 ■出席率/64.18%

本日のプログラム

1 開会点鐘	7 幹事報告
2 ロータリーソング(奉仕の理想)	8 各委員会報告(会報をもって)
3 4つのテスト	9 閉会点鐘
4 来訪者紹介と会長挨拶	10 福島競馬場見学
5 スマイリング報告(会報にて)	(馬場・設備塔・厩舎)
6 福島競馬場 大橋広志場長 挨拶	11 PM 13:45 解散



— 今月のプログラム —

12月9日(水) クラブ年次総会	12月16日(水) 家族夜間例会 18:00 ~ サンパレス
〃 福島成蹊高校 IAC 例会 16:00 ~	12月23日(水) 天皇誕生日に付き休会
12月10日(木) 夜間理事会 18:00 ~ 割烹「和」	12月30日(水) 休会



◆ 会長挨拶 ◆
林 克重 会長

皆さんこんにちは、福島競馬場移動例会に当り**福島競馬発足**の歴史を調べてみました。1887年(明治20年)から福島県産馬畜産組合によって奉納競馬が信夫招魂社(現在は信夫山公園)に設けられましたが1902年には自然消滅となった事もあり郡山の開成山に移転し、馬券を発売すると日露戦争後の競馬熱にのって数万人を集め、地方競馬としては全国屈指の盛り上がりを見せました。開成山競馬は公認競馬の認可を受けられないまま1908年の馬券禁止時代を迎え、200人まで観客は激減したとの事でした。**福島愛馬会の発足**は1913年、東北地方に公認競馬が1か所も無い事を遺憾に思った郡山の政友会の議員は郡山で福島愛馬会を組織し、公認競馬の誘致に乗

り出しました。しかし郡山では協力者が得られず、政敵である福島憲政会議員**大島要三**と貴族院議員の**鈴木周三郎**、銀行家の**内池三十郎**、高玉金山経営者の**肥田金一郎**、伊達の**服部宗右衛門**らを加えて精力的な競馬誘致を行いました。福島愛馬会は1917年に経営難の藤枝競馬倶楽部から開催権を買い取り、福島市への移転という形で政府より移転の認可を受け、1918年に福島競馬倶楽部として当時福島市長であった**二宮哲三氏**に経営を委ねました。また福島土地株式会社を設立し、福島市や市民が一体となって資金調達や建設にあたっては3ヶ月で福島競馬場を完成させました。ちなみに鈴木周三郎貴族院議員は、会員の鈴木恒明さんの本家で、森永乳業福島工場の誘致をはじめ現在の杉妻小学校の土地を寄付されるなど、福島市の基盤に大きな功績を残された大先輩とお聞きしております。市民と縁の深い競馬場見学は大いに意義深くお骨折りを頂きました**大橋場長様**に感謝申し上げ会長の挨拶とさせていただきます。

◆ 福島競馬場 大橋広志場長様 の挨拶 ◆



職場訪問例会(JRA 福島競馬場)の開催に当たりまして、一言ご挨拶させていただきます。

只今、ご紹介頂きました大橋で御座います。私は、ご紹介にもありました通り福島市(須川町・岳陽中学校の目の前)出身です。先程、林会長さんにご挨拶させて頂いた折、林さんとは中学の同窓であることを知りました。親しみを持って例会に臨めそうです。また、子どもの競馬開催日以外の平日に職場訪問例会を開催して頂き、競馬場の「平日の顔(開催日には、ご紹介できない)」をご紹介できる機会を頂きまして誠にありがとうございます。さらには、会長様より福島競馬場の歴史をご紹介頂きましたこと、そして、南ロータリー会員様(鈴木様)との歴史的な関わりなど拝聴させて頂きましたこと、重ねて御礼申し上げます。

さて、私は、福島ロータリークラブ会員として2年目を迎え、徐々にではありますが「ロータリー綱領」に示す活動の目的・意義などを私なりに理解しつつあります。こうした中で、今年度は、職業奉仕小委員会のメンバーに加えて頂いておりますが、「職業奉仕」の意味は、なかなか「こうである」との定義は難しいものの、私なりの理解として「勤める企業の(事業の)健全な発展に努め、**事業成果の中で社会貢献を成す。**」事ではないかと思っております。

そこで、これまでは中央競馬をご紹介する場合、「競馬の興行面を主にご理解を戴く様な」内容でお話する事が殆どでありましたが、この機会に私どもの事業目的の一部では御座いますが、敢えて触れてみたいと思います。

まず、競馬の開催は、事業目的を果たすための手段であり、健全且つ公正に、安全と安心を確保し皆様に憩いの一時を楽しんで頂く事にあり、そこで得た収益を以下の事業目的に配分し、**JRAは社会に貢献する事**にあります。

国庫納付金の4分の3相当額を**畜産振興事業**に充当。国庫納付金の4分の1相当額を**社会福祉事業**に充当。国庫納付金の仕組みは、例えば、100円の勝ち馬投票券を買えば、そのうちの約25円が控除されます。この25円のうち10円が国庫に納付され、第一国庫納付金(近年では約2千8百億円/年)になります。残る15円はJRAの運営に充てられますが、これにより各事業年度において利益が生じた場合は、その2分の1を国庫に納付されます。これが第2国庫納付金と呼ばれます。

また、福島競馬場では、福島市が行う**環境整備事業**(道路整備等)に対し、環境整備費を支援しており、

地元町会・学校・警察・消防などには、物品・備品の購入、行事賛助金を**地元協力費**として支出し地元融和を図っております。私どもJRAは、経営の基本方針の一つとして「社会とともに」を掲げ、皆様に親しまれる競馬の開催を通じて、社会への責任を果たして行きます。今後とも「日本中央競馬会の事業」をご理解、ご支援を賜れば幸いです。

◆ 福島競馬場 見学全貌 ◆

🏠 福島競馬場総務課 課長 田辺様の説明を受けて 🏠



🏠 競馬場 館内設備の容相 🏠



◆ スマイリングボックス ◆

🏠 JRAの皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。(林 克重)
 🏠 生れて初めての競馬場訪問に感謝して(高橋 和之)
 ☆その他、多くの会員からのメッセージを頂戴致しました。
スマイル 33,000円 財団：米山 35,000

◆ 座右の銘 ◆ 伊藤 統一 会員
「知識は過去 知恵は未来」

答えを探すと知恵が構築され、変化に気づくと知恵が生まれる。知恵は過去からあり、知恵は未来をもたらす。何事も知恵を得ようとするときは(得た時は)創意工夫(知恵)が大切だと思えます。

— 編集後記 —
 🏠 厳しい現況の中で師走を迎え様としております。！
 身体が資本、頑張ってください！ (藤橋)